

令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名	東成
学校名	東小橋小学校
学校長名	松本 学

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和6年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただきため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・東小橋小学校では、第6学年12名

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語・算数の平均正答率は全国・市の平均正答率とともに上回っている。国語は全国平均を0.3ポイント・市平均を2ポイント上回っている。算数は全国平均を0.6ポイント・市平均を2ポイント上回っている。
平均無回答率について、国語は全国平均よりも0.6ポイント下回っているものの、市平均に対しては0.3ポイント上回っている。算数は全国平均より0.8ポイント、市平均より0.6ポイント下回っており、本校児童は粘り強く問題に取り組んだ様子がうかがえる。
学習指導要領の内容・領域に関して、国語は「話すこと・聞くこと」「書くこと」「聞くこと」、算数では「数と計算」「図形」「変化と関係」においての平均正答率が全国平均・市平均ともに上回っている。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】

「思考力、判断力、表現力等」に関する「話すこと・聞くこと」「書くこと」「聞くこと」は全国・市の平均正答率を上回っており、学習の効果が見られる。ただ、「知識及び技能」に関する「言葉の特徴や使い方に関する事項」及び「我が国の言語文化に関する事項」は全国・市の平均正答率を下回っており、基礎・基本の学力を確実に習得できるよう学習を進めていく必要がある。

【算数】

「データの活用」以外の全ての領域において、全国・市の平均正答率を上回っており、学習の効果が見られる。特に「図形」と「変化と測定」においては全国平均を6.6ポイント上回っており、学習の効果が見られる。ただ、「データの活用」のみ全国平均・市平均ともに下回っており、表やグラフの読み取り等に関わる学習を進めていく必要がある。

どちらの教科においても「学力向上支援チーム事業」を活用した研修会を活発に実施してきた成果が結果として出ており、今後も教員の指導力を高めることで学習の効果が高まるようにしていきたい。

質問調査より

【児童質問紙より】

「自分には、よいところがあると思いますか」の問い合わせに対して、100%の児童が肯定的な回答をしており、全国・市の平均よりも高い結果となっている。これは学校における各種取組が功を奏していることと、家庭・地域からの称賛が有効に作用している結果と捉えている。

「人が困っているときは、進んで助けていますか」の問い合わせに対して、100%の児童が肯定的に回答している。引き続き道徳教育をはじめとした学校教育全般をとおしての取組を継続していく。

「朝食を毎日食べていますか」の問い合わせでは16.7%の児童が「あまりしていない」と回答しており、全国や市の状況よりも良くない結果が出ている。喫食率が100%に近づくよう家庭との連携を図る。

「将来の夢や目標を持っていますか」の問い合わせに対して肯定的に回答する児童は58.3%と、全国平均81.6%・市平均82.2%と比較すると非常に低い値となっており、課題が見られる。今後は、市教育委員会事務局第2教育ブロックグループが進める「キャリア教育」を、本校でも教育活動の柱の一つとして位置づけ、普段より「キャリア教育」を意識した授業を展開していく。

【学校質問紙より】

全教員が積極的に授業を公開するとともに、計画的に校内研修を開催してきていることから、研修に関する項目はどの項目も全国・市と比較してより高い値の回答状況になっている。これは「学力向上支援チーム事業」を有効に活用することで、校内研修の活性化につながっている部分があるので、今後も継続して取り組んでいく。

一方、ICTに関する項目については、全国・市と比較して低い値の回答状況になっていることから、今後はICTに関する研修会も随時実施することで状況の改善を図っていく。

今後の取組(アクションプラン)

- ・国語・算数の授業において基礎・基本の定着を図るとともに、どの教科でも話し合い活動を通して表現力向上につながる授業展開を行う。
- ・教員研修の充実が本校の強みであり、児童の学習面に好影響を与えてるので、今後も引き続き推進していく。
- ・読書の習慣化につながる取組を今後も継続する。
- ・「キャリア教育」の視点をもった授業展開を実施していく。

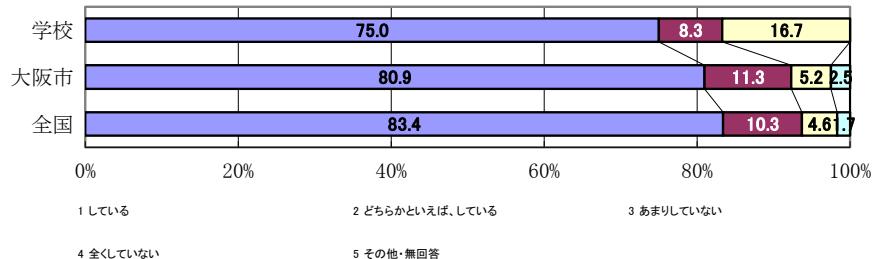
児童質問より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

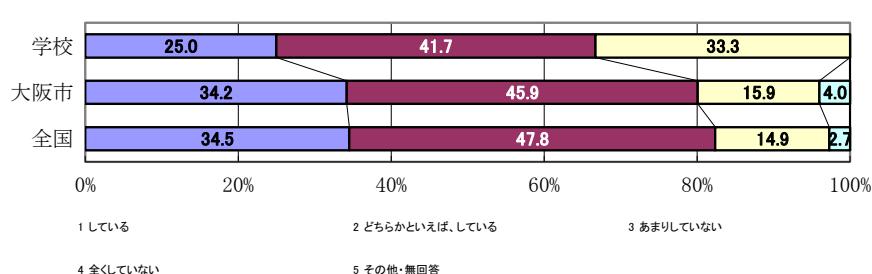
1

朝食を毎日食べていますか



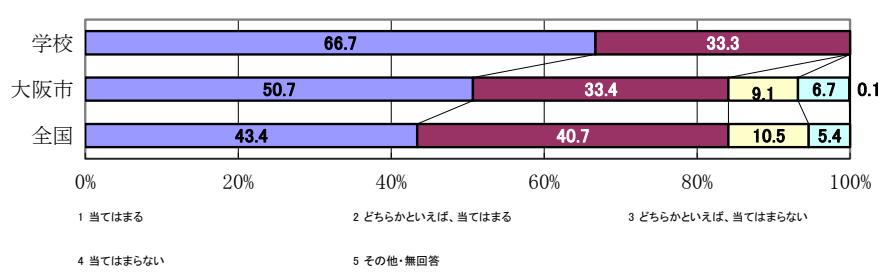
8

健康にすごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てていますか



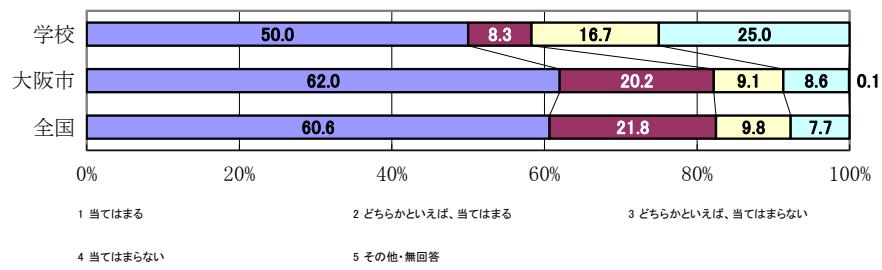
9

自分には、よいところがあると思いますか



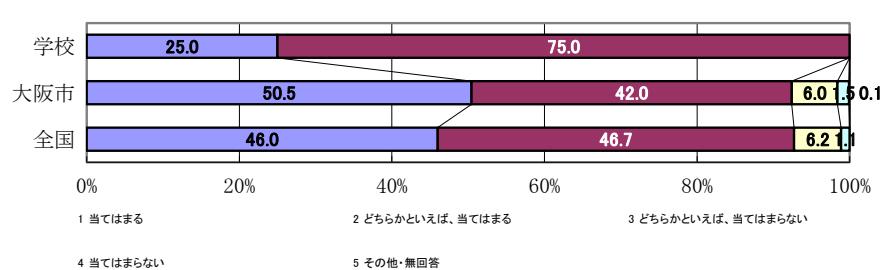
11

将来の夢や目標を持っていますか



12

人が困っているときは、進んで助けていますか



学校質問より

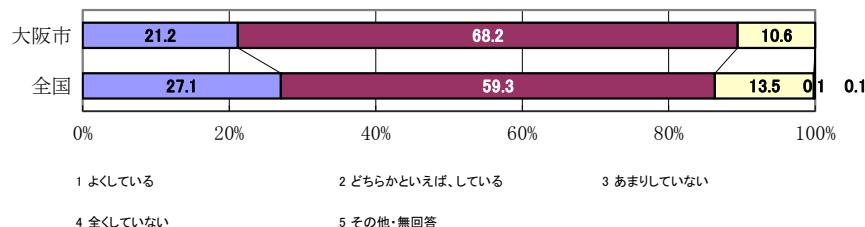
■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

18

個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか(オンラインでの参加を含む)

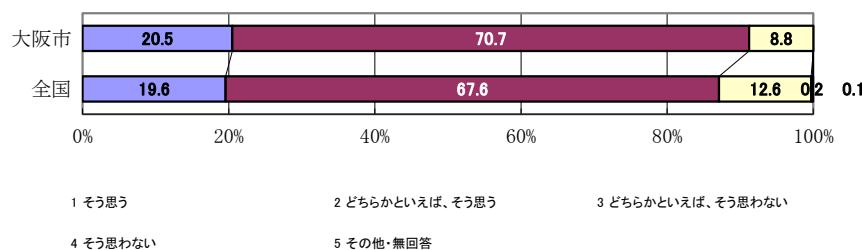
学校 「よくしている」を選択



27

調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか

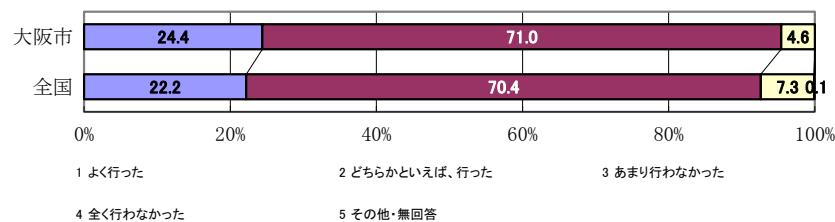
学校 「そう思う」を選択



42

調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、目的や意図、場面の状況に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、話す内容を検討することができるような指導を行いましたか

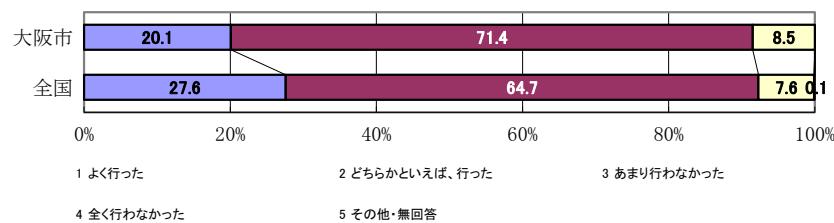
学校 「よく行った」を選択



45

調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか

学校 「よく行った」を選択



46

調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、具体的な物を操作するなどの体験を伴う学習を通して、数量や図形について実感を伴った理解をする活動を行いましたか

学校 「よく行った」を選択

